

テレビ会議システム試行

文科省の支援活用 迎賓館へ移転見据え

シティカレッジ 90科目で開講

三月までに広坂庁舎の教室に双方方向のテレビ会議システムや高性能の音響設備、無線LANなどを整備した。今年度は四科目で遠隔授業を試みる。将来は迎賓館の教室に設備を移す計画となっている。

授業科目では、金

コンソーシアム石川大、県立大、金沢学院「回」を持ち寄る「食料はしいのき迎賓館の開館に合わせ、県広坂庁舎から同館に事務局や教室を移す。移転の準備として文部科学省の「戦略的大学連携支援事業」を活用し、通信環境を整える方針だ。

3大学・短大「食博士」へ総合講座

県内の大学、短大、高専などをつくる大学コンソーシアム石川の「シティカレッジ」が九十科目で今年度の授業を開講した。来年春のしいのき迎賓館への移転を見据えて通信機能を強化し、テレビ会議システムを使った遠隔授業を試行。三大学・短大が授業を持ち寄る食科学の総合人材養成講座も導入した。

を実施する。地元の研究機関も連携し、石川の食材や調理技術、食文化を学び「石川の食博士」を目指す内容となる。

このほか能登半島地震のメカニズムや復興、防災活動、被災者支援などを学ぶ「能登復興学」を新規で盛り込んだ。人気の能登、

地酒学入門も実施する。今年度授業の受講者募集も行っている。シティカレッジは県内の高等教育機関が単位を互換する仕組みで二〇〇三年度の開講。受講者は年々増え、〇七年度は千三十七人と千人を超えた。〇八年度は九百六十四人で、県は「事業が軌道に乗り、定着した」とみている。